
少尉と軍曹2

hiromaru712

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

少尉と軍曹2

【Nコード】

N8188Y

【作者名】

hiromaru712

【あらすじ】

「ポエム24」という遊びがある。

Twitter詩人・歌人が集い#poem24というハッシュタグで午前零時丁度に決められたお題に沿った詩や歌を一斉にPostするという、新世代の雅な遊びだ。

開催日程は不定期。開催告知も不定期。お題提案者は毎回参加者の中から選ばれるが、その全てを主催者である若きTwitter詩人が任意に（有り体に言えば気紛れに）決定している。参加者はその詩人のアイコン（本アカウントは頼杖の男性イラスト、ポエム2

4用サブアカウントはメロンパンを頭に載せたキツネ少年キャラの一挙手一投足に自然ハラハラドキドキすることになる。

この物語はポエム24参加者である著者が、そのハラハラドキドキの主催者観察風景を擬人化し、Twitterタイムライン上に主催者のツイートがある度にタイムリーにリアクションとしてPostしていたものを、ほぼそのまま纏めたものだ。

ツイートを順に貼り付けただけなのでお見苦しい点多々あるかとは思いますが、そういった事情なので御容赦願いたい。

なおコンピュータや情報関連のそれっぽい用語や単位、数値は架空のものであることに留意されたい。

G l o o m y f o x

【『少尉と軍曹』はフィクションです。実在の人物、団体、機関とは一切関係ありません】

二曹「フタヨン回ります。TL問題なし。メロンパン値正常。」少尉「ご苦労、二曹。すまん。初日から君一人で。」「いえ。問題ありません。軍曹は…体調不良ですか?」「いや。お母上が倒れてな。命には別状ないようだが。」「…そうですか。」「あと一時間頼むぞ。」「了解。」

二曹「マルヒト経過。全て異常なし。」少尉「状況終了。」「ログは甲種で本部と笠岡へ送信。クローズチェックも…少尉、退勤を切られましたか?」「私は責任者だ。最後に退勤、退室する。先に切れ。二曹。今日は足はあるのか?」「少し寝坊しまして車で…あ!…来ました。」「…何故悔しそうなんだ?」

二曹「お先に失礼します!」少尉「…なんだ?慌てて。」

少尉「どうした二曹。故障か?」「バッテリーが上がっちゃったみたいで…」「どれ。見せて見る。」「えっ?はい…」「接点が緩んでる。これで…」【ドルルン!】「…そら。直ったぞ。」「…有難うございます。」「…何故悔しそうなんだ?」

【主催者ツイート】

お題を決めて24時にポエムPOSTする遊び 『ポエム24』
30回目の今夜のお題はめうたむさん (@white_tale
61921) 提供

『癖^{くせ}』

参加表明不要の自由参加です。 #poem24 のタグをつけて下さい。お題そのものは入ってなくてもOKです。

少尉「前線の様子は？」軍曹「苦戦しています。ただいつも通り士気は高いようです。」二曹「笠岡より入電。今回分のアナウンス原稿が添付されています。『健闘ヲ心カラ』」少尉「返電。『歌八裏切ラズ』。」「了解。」軍曹「アナウンス原稿のTL魚雷への装填…分かる？」二曹「はい。読込み中です。」

二曹「笠岡より入電。24参加者のコメント増加。」軍曹「オート暗転ディスプレイジャーにフィードバックエラー。作動しません。」少尉「手動に切り替える。」「了解。」二曹「アナウンス発射管問題なし。いつでも行けます。」少尉「よし。投稿POSTのタグ確認。…両名とも焦るな。訓練通りやれ。」

二曹「セカンダリモニターに断続ノイズ。『気当たり現象』と推定。『湖水流円』を実行。…状態回復。フォロースルー残時間を計算中。…想定。11分。軍曹、その間、笠岡通研関連業務もお願ひします。」「了解？」少尉「いいぞ、二曹。その調子だ。君一人の部署じゃない。楽に行こう。」二曹「了解。」

軍曹「残り30分。」少尉「ターゲットスコップ・オープン。明度調整。」軍曹「了解。ターゲットスコップ・オープン。電影クロスゲージ明度70。」少尉「投稿POST装填。目標精査の後、誤差修正。」二曹「了解。誤差修正。俯角2度。仰角3.1度。」少尉「呑む息にアドレナリンの味がする、か。」

少尉「暗転用意。今日は手動だ。間違うなよ軍曹。」軍曹「大丈夫

です。そういうの、『軍曹に暗転を説く』って言っんですよ。」「
…まんまじゃないか。」

軍曹「暗転、よし！」

少尉「アナウンス用意。」二曹「了解。発射管注水。…発射管開きます！」

大変長らくお待たせ致しました。

間もなくpoem24の開演です。

今夜のテーマは「癖」。

今宵も、今日と明日のはざまに煌めく詩と歌の競演を、どうぞごゆつくりお楽しみ下さい。

#poem24

二曹「アナウンス投下よし！」少尉「投稿POSTよい！」

「…なんてね。」の癖だけ残し 去る君に そつとつぶやく「またな…なんてね。」 #tank #janka #短歌 #poem24

軍曹「投稿POST投下よし。TLクラスタ及び通常クラスタへの反映確認。」二曹「…ふう。」少尉「状況終了。デフコン解除。ご苦労だった。二人とも。二曹も…よくやった。たかだか二度目とは思えん。」二曹「有難うございます！」

軍曹「クローズチェックも…あと自分らの退勤だけです。」少尉「先に上がっていい。私は施設課にオート暗転のメンテ依頼を上げてから上がる。」軍曹「配電盤の雨漏りですよ。先月もメンテ依頼上げられてましたよね？ちよつとガムテで応急して来ます。二曹もお

いで。場所教えとくから。」「二曹「はい。」

少尉「すまなかった軍曹。濡れなかったか？」軍曹「いえ。二曹が傘を保持してくれたので。」「少尉「二曹は…駅まで送ろうか？」二曹「…宜しいですか？」軍曹「あ、自分もお願ひします。今日実家から直だったんで。新幹線口からタクシーで来たんです。」「チツ。」「少尉「…今誰か舌打ちしなかったか？」

二曹「笠岡より入電。対象は夜勤の模様。」「軍曹「TL異常なし。メロンパン値0.92mrp。」「少尉「うちの主力部隊…712中隊も大概激務だが…狐の方も大変そうだな。」「軍曹「…人は歌や詩を食べて、腹が膨らむようには出来てないですね。」「二曹「…作者の想いの丈に、胸は膨らみますけどね。」

軍曹「お疲れでしたー。」「二曹「お疲れ様でした。軍曹、今日は原付で？」軍曹「うん。一応予備のメットも搭載して来た。」「二曹「でも雨降りそうだし…少尉あの…。」「少尉「すまん。今日は約束があつてな。迎えが来るんだ。」「軍曹「女ですか？」少尉「総監部の同期だ。男だよ。飲む約束でな。」「

軍曹「そか。少尉明日お休みですもんね。」「少尉「明日の事は熊野中尉に申し送つてある。粗相の無いようにな。」「軍曹「了解。明日はプーさんか…。」「少尉「軍曹。それが粗相だ。相手は上官だぞ。自重しろ。」「軍曹「了解。」「少尉「軍曹。二曹を駅まで送れ。安全運転でな。」「二曹「えっ。」「軍曹「了解？」

二曹「二人切りで送ってもらう ↓アカウントを教えてもらう ↓
Twitterを通じて仲良くなる作戦、第一段階で頓挫中…戦術を根本から見直すか…不撓不屈の精神でやり抜くか…。」

少尉「…はつくしゅん？」

品切れで 次回入荷も未定です。 あの日の僕の夢と希望は # t
a n k a # j t a n k a # 短歌

ご予約も承っております。 「夢」はネットじゃ高値がついて
t a n k a # j t a n k a # 短歌

生産が追いついてない状況で 「希望」はいつも需要過多です。
t a n k a # j t a n k a # 短歌

二曹「712中隊より入電。短歌三首。」軍曹「何かあったんでし
ようか。やや愚痴っぽいですね。」熊野中尉「うん。ポエム24と
は関係ないですよ。ログだけとつといて。」二曹「了解。」熊野
「メロン値は？変わりない？」軍曹「…はい。0.5 m r p 前後で
微動。」熊野「はあ…。」二曹「……。」

二曹「笠岡より入電。転送ツイートをメインに出します。」軍曹「
メロンパン値僅かに上がる。現在12.6 m r p。グラフ細動。」
熊野「うーん。まあ誤差範囲でしょ。…仲本二曹は彼氏とかいるの
？」二曹「…は？いえ。生憎。」熊野「へえ。可愛いのに。最近の
若者は見る目がないねえ。」二曹「……。」

軍曹「フタヨン回る。T.L異常なし。メロンパン値3から6の範囲
で波打つ。」二曹「笠岡沈黙。転送、ありません。」熊野「お疲れ
様。じゃ時間になったらクローズして上がって。」二曹「え？」軍
曹「…お疲れ様でした。お気を付けて。」熊野「お先に。」……
二曹「…いつもああなんですか？あの方。」

二曹「笠岡より入電です。軍曹。」軍曹「24との関連は薄い、か。二曹。笠岡の遠藤准教授に連絡。この間の飲み会がどれくらい楽しかったかを300点満点で評価して貰え。フ…危機に際して心が踊る…とはな。」…少尉に言いつけますよ。」「やめて下さい。」

二曹「笠岡より再度入電。『結婚したい。』。」「軍曹「結婚か…鳥カゴに似ていると言った作家がいたな。外にいる鳥は入りたがり、中の鳥は抜け出そうと徒らにもがく…。」「それ、作家じゃなくて哲学者ですよ。モンテーニュでしょ？エセー少尉。」「どう？似てる？」「…微妙に似ててイラッとします。」

二曹「クローズチェック。完了です。退勤、切られました？」軍曹「先に切りな。今は自分が室長代行だ。最後に退勤するよ。」「はい。」

二曹「お疲れ様でした。」「軍曹「ご苦労さん。プーさんとの一日はどうだった？」「なんかモヤッとしました。なんであの方が少尉より上官なんですか？」「防大出のキャリアだからね。少尉は一般大からの編入組。そういうもんさ。あ。」「どうしました？」「少尉からメール。『二曹を送れ。』『…』。」「

二曹「おはようございます。シュン。」「少尉「おはよう。どうした？風邪か？」「昨日の帰り…軍曹に送ってもらったんですが。」「ああ。私がメールした。」「途中で雨が降って来まして…。」「…そうか。女性一人の帰り道、万一を考えての指示だったのだが…逆にあだになったか。すまない。」「いえ。」

軍曹「おばようございばず。へつくし。」「少尉「おはよう軍曹。…昨日は大変だったみたいだな。大丈夫か？」「ばい。」「…ちよつと雨宿りに止まればよかったのでは？」「スゴールびだいにぶわあ

つど、ふつで…やむのはすぐやんだんですが。」「にしても…」「やばではみです。」「いや、似てないぞ。」「

二曹「どうでした？飲み会は。」「少尉「ああ。愉しからずや、さ。…不穏な噂も聞く羽目にはなつたが。」「不穏な噂？」「ポエム24の二セ企画があるらしい。」「へえ。二セ者が出るのは人気の証なんでしょうけど。」「…ポエム25というタイトルだそうだ。」「…ノーベル安易賞をあげたいですね。」「

二曹「笠岡より入電。メインに出します。」「少尉「本日二つ目のPOST。仕事のようだから日中に動きは無さそうではあるが…。」「軍曹「狐には何度ば煮え湯をどばざれでぎばじだからで。」「少尉「軍曹…鼻をかめ。」「

二曹「少尉。一つ質問しても宜しいですか？」「少尉「なんだ？」「中将のあとの基地司令は…？」「ああ、中々決まらない。特殊機密取扱いの資格を持つ将官自体、殆どいないからな。時間がかかるんだろう。大槻副司令もばやいていたよ。」「…そうですか。シユン。」「…私にうつるのも時間の問題だな。」「

軍曹「佐官の司令が来るんですかね？」「少尉「大槻副司令が大佐だぞ？それでは副司令がやり辛い。終戦が見えてるのに司令をさせる為だけに将官を増やすような特進もあるまい。だから決まらないのさ。」「なるほど。」「或いは、情報隊じゃない隊の資格保持者を…」「なんです？」「…いや、まさかな。」「

二曹「笠岡より…くしゅ！すいません。入電。シユン。メインに出します。」「軍曹「…なるほど。もつともな指摘、ですね。…712部隊はどうしてるんでしょう？」「少尉「ルールを決めてるわけではないようだが…フォロワーの半分程度をフォローしているようだ。」「

自然にそうならしい。」「…中庸、か。」「

少尉「そう言えば副司令が仰っていたんだが、うちに新しい端末を入れて下さるそうだ。」「二曹「新しいタワー2ですね。」「いや。これを期にタワー1も新型になる。増設とパッチでなんとかしてるが…もとの機械が古過ぎるんだ。」「二曹「確かに。9801なんて聞かない機種ですもんね。」「二人「……。」「

軍曹「で、機械はこの、何になるんです?」「少尉「オム二社のエスピオネージ2300、と聞いたが。」「軍曹「え?…高級外車が10台買えるマシンですよ?2台ともエスピの最新機に?どこからそんな予算が?」「蔵王の通信施設の余りだろう。終戦までに使い切る気だ。高性能PCなら転用が効くしな。」「

軍曹「うーん…。」「少尉「どうした?嬉しくないのか?モニタも高輝度タキオンディスプレイ。キーボードもチタンセラミック複合キーで循環型化学ベンチレーター標準装備だぞ?タッチ熱問題も解決だ。」「最新型の初期ロットは不安で。現行よく使うツールも今の環境に最適化してるんで…手放しでは。」「

軍曹「選べるなら東レのパンデモニウムM09がよかったなあ。」「少尉「東レ?あそこは光学機器メーカーじゃなかったか?」「ところが一種だけPC造ってるんですよ。パンデモニウムシリーズ。おとしのモデルはハッキングツールと相性がいいって評判で。キーなんて黒曜石。スゲー渋いんですよ…。」「

二曹「笠岡より入電。4時POST。」「少尉「ゼルダ、か。」「二曹「少尉はゲームとかされるんですか?」「社会人になってからはあまりな。時々買いはするが…中々クリアまでやらない。」「どんなゲームを?」「旧作のリメイクが多いな。昔、何度もやったのにま

た買ってしまった。」「軍曹「…分かります。」

少尉「二曹、今日は君は早上がりだったな。上がっていいぞ。温かくして早く寝ろ。」「二曹「…了解。軍曹。セカンドリは閉じます。申し送りは特にありません。」「了解。お大事に。」「軍曹も…少尉。お先に失礼します。」「ああ、ご苦労。気を付けてな。」

二曹「はあ…。」

軍曹「内線1番。511？取ります。はい備管別。…分かりました。代わります。少尉。大槻大佐です。」「少尉「代わりました。…は。ええ。あ、そうですか。副司令も肩の荷が降りますね。…で、どなたに？…え！しかし彼女は…。なるほど、分かりました。…はい。ありがとうございます。失礼します。」

軍曹「新しい司令、決まったんですか？」「少尉「…」。」「少尉？」「ああ、すまん。メロンパン値は幾つだ？」「…どうしたんです？メロンパン値の話なんてしてません。今、自分は、新しい司令が決まりましたか？って。」「ああ…すまない。そのようだ。海外協力隊の石野情報大佐が着任される。」

軍曹「いつからです？」「少尉「週明けだ。彼女は今、南スーダンのPKOを情報支援する任務に着いているが、今週一杯で任期が明けるんだ。」「へえ…南スーダン…って、え？ 今『彼女』って…」「その通り。石野涼子情報大佐は女性。新しい司令は女大佐だ。」「…お知り合い、なんですか？」「…」。」「

軍曹「…昔、お付き合い、なさってた…とか？」「少尉「…さあな。状況中だ。慎みたまえ軍曹。」「…了解。」

二曹「来週の蟹座は…『凶』。もう…今週十分ツイてないのに…
くしゅ！」

二曹「笠岡より入電。…忘年会についてですね。」軍曹「今年はどうします？遠藤っち、副司令…新しい司令にも声かけて盛大に行きますか。」二曹「あ、次の司令決まったんです？」軍曹「石野情報大佐って女性らしいよ。」二曹「へえ。この世界で女性って少ないから…話せる方だと嬉しいな。」少尉「…。」

晴天の空のせいにはできなくて いないあなたの大きさを噛む #
t a n k a # j t a n k a # 短歌

澄み渡る風が肌身に言い聞かす 訪れる冬 去ってつた君 # t a
n k a # j t a n k a # 短歌

二曹「あ、続いて712中隊より。短歌二首。」軍曹「…寂しげ？」
少尉「失って初めて気づく…。古今、人の賢愚は様々に繰り返し問
われているが、その一点に於いてはつきり愚かだと言い切っても
いいかもしれない。」軍曹「少尉もそんな経験が？」「…私が人では
ないとでも？無論私も例外ではない。」

軍曹「TL異常なし。メロンパン値1以下で微動。」二曹「笠岡も
沈黙を守っています。転送、ありません。」少尉「…うん。」軍曹
「少尉、先程から何を？」「例のポエム25が気になってな。見て
くれ、サブのBに出す。」軍曹「…もしかして…ポエム24」これ
だけ？」「検索にかからん。只の噂…か？」

二曹「笠岡より入電。4時POST。」少尉「面倒なタイプのクレ
ームだな。」軍曹「どうせならスカイもスカイにして欲しいで

すね。」「二曹「東京もトオウキヨに、ですね。」「少尉「…新幹線のアナウンスか。」「

二曹「笠岡より転送。対象は割とゲームもするんですね。」「軍曹「だな。にしても少尉遅いな。大槻大佐と何話してるんだろ。」「新司令についてミーティングって言ってましたけど…なんで少尉が呼ばれるんでしょうね。」「…それなただけだよ。新しい司令と少尉…昔何かあったんじゃないかな?」「え?」

二曹「何か、と言うと?」「軍曹「少なくとも知り合いではありそうなんだ。副司令に呼ばれたのは新司令の人となりとかを、副司令が知ってたんじゃないかな?ただそつから先が…。」「つまり…元恋人だった、とか?」「…分からない。ズバリ訊いたがはぐらかされた。」「…少尉の元カノ…新司令が?」

二曹「……。」「軍曹「二曹。」「…。」「二曹!入電だよ、712中隊から。」「え?あ…すいません。712中隊より…短歌二首…あ、いえ、三首。」「…やっぱり好きなんだね、少尉のこと。」「…何を言っんですか?!状況中に!そんな…嫌いじゃ、ないでございますが…あれ?」「分かった分かった。」「

軍曹「内線511…副司令室。取るね。はい備管別。あ、少尉…はい。いえ、特には。…そうですか。分かりました。何かあればすぐ。…いいえ。はい、失礼します。」「二曹「…まだ戻れないんですね。」「…なんか長引きそうだって。」「…。」「…状況中には訊くなよ?」「…分かってます。」「

少尉「すまない。遅くなった。異常はないか?」「軍曹「はい。Tし、メロンパン値、ヒューマノイドのツイート内容、全てネガティブ。」「

兆候、ありません。」「二曹「笠岡沈黙。712中隊健在。コンスタントに短歌をPOSTしています。」「少尉「副司令も…時間を考慮してくればな。気が気じゃなかった。」「

軍曹「新司令…石野情報大佐とは以前、同じ部隊に?」「少尉「ああ。もう七年になるか…任官された最初の年に。北九州下曾根基地の情報班『電算総務室』で世話になった。彼女は二年先輩で諜報のイロハを教わったんだ。」「告白は新司令が?」「軍曹…私がそんな力マにかかると思つか?」「ダメ元です。」「

二曹「お疲れ様でした。」「少尉「ご苦労。軍曹、二曹を駅まで送ってくれ。私は副司令をお送りする。」「二曹…副司令、電車通勤なんですか?」「少尉「いや、御宅まで送る。奥方が車をお使いだそうだ。」「二曹「…はあ。」「軍曹「安心しろ二曹。今日は軽四で来た。」「二曹「…そういうことじゃありません。」「

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8188y/>

少尉と軍曹2

2011年11月24日10時46分発行